

**教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の結果報告書
(令和2年度分)**

**令和3年9月
豊山町教育委員会**

目 次

第一部 点検・評価制度の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
I 経緯	
II 点検・評価の対象	
III 点検・評価の方法	
第二部 教育委員会の活動状況の点検・評価・・・・・・・・	2
I 教育委員会会議の開催と審議状況	
II 教育委員の活動状況	
第三部 主要施策と事業の自己点検・自己評価・・・・・・・・	3
I 生涯学習の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	3
II 家庭教育の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	8
III 学校教育の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	11
IV 文化財の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	21
V 芸術・文化の分野・・・・・・・・・・・・・・・・	23
第四部 学識経験者による評価・・・・・・・・・・・・・・・・	25

第一部 点検・評価制度の概要

I 経緯

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）が改正され、平成20年4月から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という）を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出し公表しなければならないとされた。また、点検・評価を行う際には、教育に関して学識経験を有する者の知見を活用することが求められている。

本町教育委員会は、これを受け、地教行法に基づいた教育行政の点検・評価を行い、より質の高い教育行政の推進と町民への説明責任を果たすため、ここに報告書を作成し、公表することとする。

（参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄））

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 点検・評価の対象

令和2年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

III 点検・評価の方法

本町教育委員会は、令和2年度の実績をまとめ、基本方針と施策に掲げた関連事業を「必要性」、「有効性」、「効率性」、「達成度」の4観点から下記の評価基準によって自己点検・自己評価を行い、報告書にまとめ、令和3年9月の教育委員会会議で議決した。

また、この点検・評価を行うにあたっては、「豊山町教育事務執行等外部評価委員（以下「外部評価委員」という）」の知見を活用し、外部評価委員の意見を報告書に掲載した。

（評価基準）

評価記号	基 準
S	良い。現在の水準を維持し継続する。
A	概ね良い。内容を更に充実して継続する。
B	良いが、見直しをし、改善して継続する。
C	評価が低い。抜本的に見直しをするか、廃止をする。

第二部 教育委員会の活動状況の点検・評価

I 教育委員会会議の開催と審議状況

【実施状況と成果】

教育委員会定例会を12回（昨年度12回）開催した（教育委員会臨時会は0回（昨年度0回））。教育委員会会議では、豊山町教育委員会の会議に関する規則の規定に基づき、議案22件（昨年度15件）、代決処理4件（昨年度0件）を審議・可決したほか、42件（昨年度50件）の報告を受けた。感染症対応のため、代決処理を行っていることが特筆される。

詳細については、町のホームページで公開している。

【評価と課題・改善策】

教育に関する様々な議題について審議し、教育委員会としての意思決定をするとともに、各種議題や事業の進捗状況等の報告について、教育委員と事務局との意見交換を積極的に行った。

【総合評価】

上記の状況を踏まえ、総合評価はAとした。

II 教育委員の活動状況

【実施状況と成果】

- ① 教育委員は、教育委員会会議のほかに、関係機関・学校関係諸行事にも参加した。
 - ア 総合教育会議 1回（昨年度1回）
 - イ 学校訪問（1日訪問） 0校（昨年度2校）※感染拡大予防のため実施せず
 - ウ 町教育委員会学校訪問 0校（昨年度2校）※感染拡大予防のため実施せず
 - エ 校長との合同会議（学校経営の現状報告と情報交換）2回（昨年度3回）
 - オ 入学式、卒業式、運動会、体育大会等 0校（昨年度4校）※感染拡大予防のため参加せず
 - カ 愛知縣市町村教育委員会連合会総会・研修会 1回（昨年度1回）※書面開催
 - キ 愛日地方教育事務協議会会議 5回（昨年度6回）※5月のみ中止
 - ク 西春日井地区教育委員会連絡協議会総会 1回（昨年度1回）※書面開催
 - ケ 西春日井地区教育委員会連絡協議会研修会 0回（昨年度2回）※中止

【評価と課題・改善策】

感染拡大予防のため参加を控えたり、書面開催や開催中止となったりしたが、そのような状況の中であっても可能な範囲で教育現場の現状把握や意見交換を積極的に行うとともに、他の市町との調整・意見交換会議等に参加して、幅広い視野から教育の在り方を検討した。

【総合評価】

上記の状況を踏まえ、総合評価はAとした。

第三部 主要施策と事業の自己点検・自己評価

I 生涯学習の分野

「生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画」(第3期)

テーマ「『いつでも』『どこでも』『だれでも』学べる 人が輝く生きがいタウン」

<基本目標>

①生涯学習活動の推進

すべての町民が、「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」学べる、多様な生涯学習の機会の充実を図ります。また、町民が安心して利用できる生涯学習拠点となる社会教育施設の整備・充実を図ります。

②家庭教育支援の充実

学校と家庭、地域が一体となった子育ての支援や家庭教育が進められるよう、家庭や地域の教育力向上の支援とともに、子どもの豊かな心を育む学習支援を図ります。

③芸術・文化の充実

すべての町民が芸術・文化活動に親しみ、町民の創造性が育まれ、地域社会に潤いをもたらされるよう、芸術・文化活動の推進を図ります。また、地域の伝統・文化を将来にわたって継承するため文化財・郷土資料の保存・活用を図ります。

④スポーツの充実

子どもからシニア世代まで、生涯にわたり一人ひとりの興味やライフスタイルに応じて、様々な形でスポーツに関わりを持ち、スポーツに親しむ生涯スポーツ社会の形成を目指し、スポーツに関わる機会の創出、スポーツによる町のにぎわいづくり、スポーツ施設・環境整備の推進を図ります。

5年後の豊山町のめざす姿	子どもからお年寄りまで、誰もが一人一人のライフスタイルに応じて、生涯にわたっていつでも新しい知識を修得したり、学習やスポーツなどの活動を通じて余暇時間をいきいきと過ごすことができる環境が整っている。	総合評価	A
--------------	---	------	---

事業1-1	生涯学習のまちづくりの計画的な推進	評価	S
目標	社会経済の状況、地域での学習環境の変化、学習活動内容の多様化などに対応した生涯学習のまちづくりを一層推進するため、生涯学習基本構想・基本計画に基づき、計画的に生涯学習のまちづくりを推進する。		
実施状況	<p>① 令和2年度は、生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画(第3期)(以下、第3期計画)の初年度であり、引き続き生涯学習による豊かな心を育むまちづくりを目指した。</p> <p>② 令和2年度からの生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画(第3期)(以下、第3期計画)の策定にあたって、地域の実情に応じた計画内容とするため、教育分野・ボランティア分野・関係町民団体の各代表と公募1名の合計12名の委員で組織する生涯学習推進審議会を2回開催した。</p>		

評価と改善案	○ 生涯学習推進審議会において、豊山町子ども読書活動推進計画（第3次）について審議し、策定した。その他、令和3年度の生涯学習まちづくり実施計画及び令和2年度の進捗状況などについて提案し、意見を求めた。引き続き、豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画に基づく、生涯学習の推進に係る施策について意見を求めている。
--------	---

事業1-2	学ぶ機会の充実	評価	A
目標	町民の主体的な参画や大学や企業との連携を一層強化し、体験型講座や地域に密着した学習メニューなど、町民のニーズに対応した学ぶ機会の拡充に努める。		
実施状況	<p>① 生涯学習講座内容の開催 <『豊山町の生涯学習・令和2年度のまとめ』（以下『まとめ』）P10～13参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 豊寿大学、ローラさんのやさしい英会話、LINE講座などの「自己の向上に関するもの」、多肉植物の楽しい寄せ植えの「生活の向上に関するもの」の講座を開講 <p>② 出前講座の実施 <『まとめ』P14～15参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の在住・在勤の方で、10人以上で構成されたグループに対し、行政の仕組みや施策について、町の職員が現地へ出向いて講義を実施 		
評価と改善案	<p>○ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講座の申込方法を従来の役場への直接申し込みから往復はがき方式に変更した。これにより感染拡大対策の他、当日に、申し込みできなかった人も気軽に申し込みができる環境を整えた。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により開催できなかった講座もあったが、開催した講座は新型コロナウイルスの各種ガイドラインに基づき安心安全に開催した。</p> <p>今後は、講座の内容について住民ニーズの把握に努めるとともに、開催するにあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、町民が講座に参加しやすい場の提供に努める必要がある。</p>		

事業1-3	学習活動支援の人的体制の整備	評価	B
目標	講師や指導者、ボランティアなど生涯学習に関わる人材を確保・育成するとともに、学習した知識や技術を活用する場の確保に向けた取組を推進する。		
実施状況	<p>① 生涯学習ボランティアバンクの整備</p> <p><『生きがいタウンNo51 P11～12』参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ボランティアの募集と登録（7分野） 趣味（将棋・あみもの・陶芸・アレンジフラワー・茶道など）、家庭生活（美容・子育てなど）、教養（韓国語）、体育・レクリエーション・健康（バウンドテニス・チェックボール・ミニソフトバレー・ウォーキング・ダンスなど）、伝承文化（太鼓・三味線など）、地域活動（生涯学習）、国際交流（交流活動） <p>② サークル登録制度とサークル活動の活性化</p> <p><『生きがいタウンNo51 P12』参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 文化協会や体育協会に所属していないサークルやグループの登録 仲間作りと人材育成のサポートやその手伝い 太極拳（2団体）・スポーツ吹矢・アートフラワー 		

評価と改善策	○ ボランティアバンクは、対象者が「ふれあいひろば」では、毎週土曜日に活用され成果も高い。しかし、その他の「一般」については活用がされなかった。ボランティアバンクの一般利用については、利用促進のため、広報への掲載やホームページでの紹介などを行い、活用について周知に努める。
--------	--

事業1-4	学習情報の提供と学習相談体制の整備	評価	A
目標	誰もが、いつでも、どこでも、必要な学習情報を的確に入手できる情報提供体制の充実を図る。また、生涯学習に関する相談窓口体制の構築など、生涯学習に関する情報提供、相談体制の機能の充実を行う。		
実施状況	<p>① 情報提供体制の充実 <『まとめ』P9参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習情報誌「生きがいタウン」(No. 51 (4月号)・No. 52 (9月号))の発行 学校、公共施設、コンビニなどで配布 町ホームページ内のトピックスにリンクを掲載 広報とよやまの「まなびすとコーナー」ページでの掲載 生涯学習事業について写真を中心に紹介 <p>② 学習相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習情報コーナーの設置 (社会教育センター内) 国、県、他市町村、大学、民間などの発行するパンフレットなどの設置 学びネットあいちなど、インターネットサイトの活用による生涯学習相談 相談後の講師やサークルなどの紹介による情報の提供 		
評価と改善策	○ 生涯学習に関する情報提供については、広報とよやま、「生きがいタウン」などの紙媒体だけでなく、町ホームページや「とよやまみんなのチャンネル」でも情報提供を行った。今後は、町ホームページで生涯学習事業についてさらに検索をしやすいよう努める。		

事業1-5	学習環境の整備と活用	評価	B
目標	社会教育センターやスポーツ施設のほか、学校体育施設や学習等供用施設の設備の充実、生涯学習以外の目的で設置された施設や設備の生涯学習活動での利用拡大を図る。特に、社会教育センターでは航空宇宙関連の図書コーナーを充実する。		
実施状況	<p>① 施設予約システムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットによる予約受付 (平成22年度導入) <p>② 社会教育施設の利便性向上 <『まとめ』P16~22参照></p> <p>社会教育センター、学習等供用施設とも緊急事態宣言発令等に伴い、利用者の安全を優先し、利用自粛、利用停止、開館時間の短縮の対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育センターの利用状況 (アリーナ・ホール・研修室など) 年1, 850件利用【前年比2, 596件減】 開館日数307日 1日平均約6件 学習等供用施設の利用状況 (東部・新栄・富士の3施設) 年2, 869件利用【前年比1, 583件減】 開館日数359日 1日平均約8件 <p>③ 豊山スカイプールの利用 <『まとめ』P53参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響によりプールを休場した。 		

評価と改善策	<p>○ 図書室では、図書室内にあるすべての本についてインターネットによる予約が可能となるよう、在架予約システムを導入し、利用者の利便性の向上を図った。</p> <p>特設コーナーの充実には至らなかったため、今後は、広報や図書室だよりでPRを行うとともに、より一層の充実に努める。</p> <p>○ 社会教育センター及び学習等供用施設においては、緊急事態宣言発令等に伴う利用自粛、利用停止、開館時間の短縮の対応を行ったため、利用件数が減少した。発令等解除後の開館時では、新型コロナウイルス感染症対策として、国や県のガイドラインに沿った対応を徹底し、利用者の安全確保及び適切な運営を図り事業を継続した。今後も、施設の維持管理に努め、効率的な施設運営を継続するとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、利用者が安全で使いやすい環境を提供するよう努める。</p> <p>○ 豊山スカイプールは、開場に向けて指定管理者と十分話し合ったが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じても、なお、利用者の安全確保及び適切な運営を図ることが困難なことから、プールの休場が適当と判断した。</p>
--------	---

事業1-6	読書活動の推進	評価	B
目標	本に親しむ環境を整え、児童生徒に豊かな情操を育成する。社会教育センター図書室を中心に関係機関と連携を深めながら子ども読書活動推進計画の実践に努める。		
実施状況	<p>① 社会教育センター図書室の利用状況 <『まとめ』P18・19参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館日数年241日【前年比24日減】、貸出冊数年合計29,449冊【前年比11,600冊減】 <p>② 豊山町子ども読書活動推進計画の実践 <『まとめ』P21参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山町子ども読書活動推進委員会（3回実施）の開催 第3次子ども読書活動推進計画の策定（計画期間：令和3年度～令和7年度） 利用者カード申請書の配布（新1年児童）【未実施】、新刊図書の案内配布、 学校図書館バーコード化への取組、読書活動の情報交換 ・親子読書会（例年4回実施）（幼児・児童とその保護者対象）【すべて中止】 大型紙芝居・ペープサート劇・手遊び・おもちゃ作りなど 【令和元年度実績】 参加者合計96人（1回平均24人）【前年比20人増】 ・おはなし会（月1回実施）（幼児・児童とその保護者対象）【11月のみ開催】 絵本読み聞かせ 参加者合計9人【前年比92人減】 		
評価と改善策	<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館や時短により年間資料貸出数は前年度より減少した。</p> <p>○町民が子供の読書活動の推進に自主的に取り組むことができるよう第3次子ども読書活動推進計画を策定した。今後は、既存の特設コーナーをより充実させる等、貸出冊数を増やすための取り組みを行っていく。</p>		

事業1-7	社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進	評価	A
目標	スポーツ推進委員・体育振興団体の活動を支援し、社会体育・生涯学習スポーツ事業を充実する。		

<p>実施状況</p>	<p>① 第49回町民体育大会の開催【中止】 <『まとめ』P48参照> ② 第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の出場【中止】 <『まとめ』P49参照> ③ 社会体育・生涯スポーツの振興 <『まとめ』P43～47参照> ・幼児体操教室、ノルディックウォーク教室、ボルダリング等体験教室など、子どもからシニア世代まで参加できる講座を開講した。 ④ 第13回とよやまエアポートビューマラソンの開催【中止】 <『まとめ』P48参照></p>
<p>評価と改善策</p>	<p>○ 町民体育大会及びとよやまエアポートビューマラソンは、実行委員会によって町民主体の運営が行われているが、新型コロナウイルスの感染状況から、感染対策を講じても、参加者の安全確保を図ることが困難なことから中止を決定した。</p> <p>○ 愛知駅伝への参加・支援事業については、選手を募集し、記録会を1回開催したが、愛知駅伝実行委員会が新型コロナウイルス感染拡大防止による大会の中止を決定したため、事業が中止となった。記録会の際には小中学校全員にチラシを配るなど周知に努め、当日は新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら実施した。</p> <p>○ 生涯学習講座（スポーツ）は、令和2年度は4種目の実施を予定していたが、新型コロナウイルスの感染防止のため2種目の実施に至った。 また、スポーツ推進委員においては、新型コロナウイルス感染拡大により、県や西春日井地区の研修等もほとんどが中止となった。そのため、新たなニュースポーツなどの情報収集が十分には行うことができなかった。 また、全国大会で活躍した選手の表敬訪問の様子を広報とよやま、町ホームページに掲載し、多くの町民に知ってもらえるよう広報活動に努めた。</p>

II 家庭教育の分野

5年後の豊山町のめざす姿	親子の対話やしつけなど家庭での親の役割が適切に発揮され、家族のふれあいが深まっています。また、学校と家庭、地域が一体となって子育ての支援や家庭教育を進めている。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業2-1	家庭の教育力向上への支援	評価	A
目標	乳幼児学級や家族ふれあい事業、絵本の読み聞かせなど乳幼児を対象とした事業を推進するとともに、体験活動など親子の学習機会の充実を目指す。また、子育てサークルの支援や親同士の情報交換、交流機会の拡充により子育てネットワークの構築を図る。		
実施状況	<p>① 乳幼児学級事業 <『まとめ』P23参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵本で子育て楽しみませんか？」参加者2組4人 ・「子どものアレルギーの基礎知識とケア」参加者1組2人 ・「親子で始める楽しい食育」参加者6組12人 <p>② 家族ふれあい事業 <『まとめ』P23・24参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族芸術劇場【中止】 ・家族ふれあいコンサート びよびよコンサート2回 参加者合計14組31人 <p>③ 家庭教育講演会 <『まとめ』P24参照></p> <p>演題 「小学校のプログラミング教育必修化ってなに？家庭でできること！ ～プログラミング授業体験をしながら考える～」</p> <p>講師 愛知県立学校講師 塚本まゆ氏 参加者25人</p>		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳幼児学級は、子育てに役立つ講演会を行い、若い母親たちに家庭教育の重要性を訴えることができた。また、各回のポスターを作成し、町内の公共施設の他、スーパー等の商業施設にも掲示し、周知に努めた。 ○ 家族芸術劇場は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ○ 家族ふれあいコンサートは、お子さんと保護者が一緒になって楽しめるミニコンサートを提供し、子育て中の母親のリフレッシュ、子どもたちの情操発達の醸成を図った。 ○ 家庭教育の重要性の普及、啓発を図るため、小中学校の児童・生徒をもつ保護者を対象に、家庭・地域での教育力向上を啓発し、その実践を促進する講演会、相談事業を開催した ○ 引き続き、「愛知県新型コロナウイルス感染拡大予防対策指針」など各種ガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策を講じながら開催する必要がある。 		

事業2-2	地域の教育力向上への支援	評価	A
目標	子育てや家庭教育に関する相談体制の充実や講演会の開催をはじめ、子どもが安心して安全に放課後活動に取り組める環境づくり、家庭教育事業への父親の参加促進など、地域で家庭教育を支える体制を充実する。		

実施状況	<p>① ふれあいひろば事業 <『まとめ』P26～27参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生だけでなく、保護者や地域の大人も参加できる多世代参加型の文化・スポーツ教室 ・陶芸・茶道・太鼓・三味線・将棋・バウンドテニスなどの15種目 <p>② 放課後子ども教室事業 <『まとめ』P25参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 豊山小学校児童1年生～3年生 登録52名（1年17名・2年20名・3年15名）【前年比13名減】 登録率32%【前年比変化なし】 ・開催日 給食のある月・木曜日の下校～午後4時 延べ年67回 ・活動内容 学習・工作・読書・外遊び
評価と改善策	<p>○ ふれあいひろばは、土曜日の子どもの居場所づくり並びに青少年健全育成体制の整備の一環として、子どもたちだけでなく保護者や家族、地域の大人たちも対象に、地域のボランティア指導者の協力のもと事業を開催した（毎週土曜日・各クラブとも月1～2回活動、165人参加）。</p> <p>引き続き、「愛知県新型コロナウイルス感染拡大予防対策指針」など各種ガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策を講じながら開催するとともに、新たなクラブを増やすため指導者を発掘・育成する必要がある。</p> <p>○ 放課後子ども教室は、新型コロナウイルスの影響により学校が休業したことに伴い、4月と5月は休止したが、52人が利用し、67回実施した。放課後の安心安全な居場所を提供することができ、子どもたちの健全育成に貢献することができた。</p> <p>また、放課後の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する放課後子どもプラン運営委員会を開催し、放課後子ども教室と放課後児童クラブの在り方などについて検討した。引き続き、放課後児童クラブなかよし会と放課後子ども教室の効果的・効率的な運用による、放課後児童の居場所づくりの推進を図るため調査・研究を行う。</p>

事業2-3	子どもの豊かな心を育む学習支援	評価	S
目 標	<p>青少年健全育成団体のネットワークを強化する中で、青少年リーダーの発掘・養成を図るとともに、スポーツ少年団や子ども会の活性化、青少年健全育成のための諸活動の充実連携に努める。</p>		
実施状況	<p>① 青少年育成 <『まとめ』P33～35参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（夏季・冬季） 少年補導委員・学校職員・PTAによる合同街頭指導での啓発活動 ・青少年育成会議の開催（1回・書面開催） 青少年育成活動事業計画等について ・青少年育成巡回指導事業 夏季（4回）延べ7人参加、冬季（4回）延べ5人参加 <p>② スポーツ少年団への支援 <『まとめ』P28～31参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の登録率22.2%【前年比0.9%増】 空手28人、卓球37人、バレーボール19人、野球59人、サッカー66人、剣道9人 合計218人 		

	<p>③ 子ども会連絡協議会活動への支援 <『まとめ』P32参照> ・子ども会連絡協議会の活動に係る支援</p>
<p>評価と改善策</p>	<p>○ 青少年育成は、青少年育成会議によるアピタ名古屋空港店、ヨシヅヤテラス豊山店での合同街頭指導や町内の巡回指導がほぼ定着・浸透してきている。巡回指導では子どもたちが集まりそうな神明公園、コンビニなどを中心に巡回することにより非行防止の効果があつた。</p> <p>小中学校の児童生徒から標語の募集を行い、そのうちの代表作品を巡回指導時の啓発メッセージに活用することにより啓発の効果を高めた。</p> <p>今後は活動時に幟を掲げるなど周囲にアピールするとともに、青少年育成会議等の活動を通じて青少年やその保護者への新型コロナウイルス感染防止対策の啓発を行う。</p> <p>○ 青少年健全育成の推進を目的に活動しているスポーツ少年団、子ども会連絡協議会に対して活動費の助成を行った。また、補助金の趣旨に基づき適正に執行されるよう指導した。コロナ禍のため、スポーツ少年団、子ども会連絡協議会とも開催行事は減少しているが、活動が継続できるよう感染防止対策の啓発などの助言を行う。</p>

III 学校教育の分野

5年後の豊山町のめざす姿	子どもたちが基本的な学力を身に付け、道徳教育や体験活動を通じて命と人権を大切にして、夢に向かってともに生きる心を育てています。また、教員は教育の専門家として自覚を高め、高い実践力と指導力を備えている。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業3-1	地域に開かれた学校経営の推進	評価	A
目標	学校評議員や学校関係者評価委員による学校評価活動に保護者をはじめ地域住民の参画を促し、地域全体で学校経営を評価・改善していく取組を推進する。		
実施状況	<p>① 学校関係者による学校評価委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒や保護者の外部アンケート分析を含めた自己評価の実施 ・学校評議員や保護者で組織する学校関係者評価委員会の開催（各校2回） <p>② 地域住民参画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】「民生・児童委員と小学校との懇談会」での情報交換と交流、運動参観への保護者の参観 ・【豊山小】読み聞かせ ・【新栄小】資源回収への保護者・地域ボランティアの参加 ・【志水小】地域のゲストティーチャーによる出前講座の積極的活用 読み聞かせ・図書館環境整備への保護者・地域のボランティアの参加 ・【豊山中】「民生・児童委員と中学校との懇談会」での情報交換 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校関係者評価委員会の意見を取り入れ、保護者を講師としたキャリア教育を実施するなど、地域に開かれた学校経営を推進した。 ○ 感染拡大防止のため、地域の方を招いての活動はほとんどできなかったが、感染拡大防止対策を講じ、地域住民参画の推進を図っていく。 		

事業3-2	学習指導・教育環境の整備拡充	評価	S
目標	全小中学校の非構造部材の耐震対策を進める。また、将来的な建替えも含めた改修計画を策定し、防犯性・教育環境の向上、情報教育への対応のための施設・設備の整備・改善を進める。		
実施状況	<p>○ 施設・設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】特別教室空調機設置、校内LAN整備、管理用カメラ設置、給水レバーハンドル取替、1人1台タブレットの整備 ・【豊山小】校舎雨漏り防水塗装、放送設備取替、屋上防水塗装、排水管取替、樹木伐採 ・【新栄小】プール給水バルブ取替、体育館ライン引き直し ・【志水小】プールサイド塗装、プールバルブ取替、運動場ランニングコース補修、手洗い場バルブ取替 ・【豊山中】高圧機器取替、防球ネット改修 		
評価と改善策	○ 全小中学校の特別教室の空調機設置工事が完了し、学習環境が改善された。また、校内LAN整備工事も完了し、GIGAスクール構想における1人1台タブレット端		

	末の活用を開始した。各校とも校舎の老朽化が進行しているため、豊山町学校施設改築・長寿命化計画に基づき、整備・改善に取り組んでいる。
--	---

事業3-3	特色ある学校教育の推進	評価	A
目標	子どもの基礎学力の向上や豊かな心を育てる特色ある学習活動や教育活動を実践する。外部講師の招へいや学校行事への地域住民の積極的な参加を促すなど、地域や企業・事業所等との連携による開かれた教育活動を推進する。		
実施状況	<p>○ 地域等との連携による教育活動の実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新栄小】声楽家による歌唱指導（全児童）、運動参観ダンス指導（1～4年生）、いろはに邦楽・キャリアスクールプロジェクト「社会人に学ぶ（豊山町在住の方）」「職場見学・体験（中日本航空）」（6年生）、大山川水生生物調査（5年生） ・【志水小】アルミ缶・エコキャップ回収活動・芸術鑑賞会（全児童）、あいち航空ミュージアム見学（1年生）、「（保護者による）教えてもらおう 仕事のあれこれ」（5・6年生） ・【豊山中】学年別球技大会、車椅子バスケットボール体験（1年生） <p>※「どじょう寿司を味わう会（全小学校3年生）」や「長野県自部坂高原スキー場でのスキー研修（中学校1年生）」等の事業については、感染拡大防止のため実施できず</p>		
評価と改善策	<p>○ あいち航空ミュージアム見学など地元の特色や財産を十分に活用して教育活動を進めた。今後、航空産業の町である特色を生かした取組や、国際交流を取り入れた取組をさらに進める。</p> <p>○ 令和2年度は感染拡大防止のため中止となった中学1年生対象のスキー研修であるが、本町独自の事業であり、生徒からの好評を得ている事業であるため、感染防止対策を講じて実施できる可能性を模索していく。</p>		

事業3-4	健やかな児童生徒の育成	評価	S
目標	児童生徒が健康で安心して義務教育を受けられるよう、食生活の指導や健康診断の実施、心理カウンセラーによる相談事業など児童生徒の心身にわたる健康の維持・増進を図る。登下校時の安全対策や不審者対策など安全体制の確立、特別な支援教育を要する児童生徒への支援・指導を推進する。		
実施状況	<p>① 年間を通した学校保健計画での取組（保健教育での実践）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保健体育」や関連した教科（生活科・家庭科など）による保健学習 <p>② 各校での学校保健活動の取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】「早寝早起き朝ごはん」運動、むし歯予防「フッ化物洗口」（8年目）、とよやま健康マイレージへの参加、「生活チェックカード」の活用など ・【豊山小】全国歯みがき大会に参加（5年生）、すこやか集会（2回） ・【新栄小】全国歯みがき大会に参加（4年生）、保健委員と給食委員による「食に関する児童集会」 ・【豊山中】薬物乱用防止教室（2年生）、思春期教室（3年生） 		

	<p>③ 安心安全講習会の開催（学校安全計画による）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新栄小】DVD視聴による交通安全教室（3年生） ・【豊山中】保護司の方による薬物乱用防止教室（2年生） <p>④ 通学路点検・ブロック塀緊急点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路交通安全プログラムにより、尾張建設事務所、西枇杷島警察署及び関係機関による通学路点検（通学路のカラー塗装などの要望） <p>⑤ 町支援員の加配</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町採用スクールソーシャルワーカーの新設（町内各小中学校） ・特別支援教育支援員4名（豊山小2名、新栄小1名、志水小1名） ・語学支援員（中国語）1名（志水小・豊山中） ・町採用スクールカウンセラー2名（豊山小1名、志水小1名）
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体による年間を見通した計画的な実践により、児童生徒の健全育成が図られた。 ○ 通学路点検及び交通安全指導により、交通安全体制の充実を図り、児童生徒の大きな交通事故も発生していない。不審者対応など、通学路のさらなる安全に努める。 ○ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの相談事業が充実し、小中連携を進めた。

事業3-5	安全で安心できる学校給食の提供	評価	S
目標	新給食センターの建設や新たな調理システムの導入に向けた調査研究を行うなど、学校給食体制を充実し、食の安全確保や食育の取組を推進する。		
実施状況	<p>① 新給食センターの稼働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年9月1日より新給食センターでの給食の提供を開始 ・献立委員会の開催 <p>② 給食調理業務の民間委託開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーキュー株式会社に給食調理業務を委託 <p>③ 食物アレルギーへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【全小中学校】食物アレルギー児童の保護者との面談（4月当初）、エピペン研修会（対処法）へ参加 ・【給食センター】衛生研修会（年1回開催 対象者 配膳員） ・「豊山町立小中学校 学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を作成し、令和3年度から開始する乳・卵の除去食対応の在校生希望者に対して、3月に面談を実施した。 <p>④ 食育の講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年は、どじょう寿司を味わう会、町おこしの会（3年生）、魚のさばき方教室等を小学校毎に実施していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度は未実施 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症のため、令和2年度は食育の講習会が開催できなかった。令和3年度以降は、再び地域の特色を活用した取組を増やして、食育の充実を図る必要がある。 		

	<p>○ 食物アレルギーへの対応については、エピペン対処の児童生徒が年々増えてきており、給食センターと協力し事故のないよう細心の注意を払っている。令和3年度からは乳・卵の除去食提供を開始することから、これまで以上に給食センターとの連携を密にし、対応していく必要がある。</p> <p>○ 新給食センター建設工事は順調に進み、令和2年8月に引き渡し完了し、翌月の9月より稼働を開始した。</p>
--	--

事業3-6	教員の資質向上	評価	A
目標	町内小中学校における授業研究を中心とする校内現職教育を進め、教員の資質向上（教師力向上）をめざす。		
実施状況	<p>① 校内現職教育の充実（現職教育の研究テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】「確かな学力と学びに向かう力を育てる指導法の工夫」 －基礎・基本を大切にしたい授業実践を通して－ ・【新栄小】「自ら気付き、関わりあいを通して考えを深め、粘り強く追究する児童の育成」 － 伝え合い、学び合う授業展開の工夫 － ・【志水小】「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指して ～児童が「見方・考え方」を働かせるための課題の工夫を通して～ ・【豊山中】「確かな学力を身に付けた生徒の育成」 －主体的に聴く・対話的に考える学び方(学び合い)を通して－ <p>② 豊山町夏季研究協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想における1人1台端末導入に向けて、全教員がiPadを授業で活用できるようにするための研修（町内全教員参加 講師：株式会社NTTドコモ 東海支社 法人営業部 主査 ICT支援員 田中 梨恵氏） ※感染拡大防止として、全教員集まった研修ではなく、実践を兼ねたオンライン方式で実施 		
評価と改善策	<p>○ 各校では現職教育の研究テーマのもと校内研修を充実させ、授業力が向上した。</p> <p>○ タブレットを活用し、研究協議会などを通して新学習指導要領の趣旨を取り入れた指導方法を研修した。</p> <p>○ ICT機器の活用など、指導方法が児童生徒に有効に働くよう、さらなる研修と検証に努める。</p>		

事業3-7	魅力ある教員の養成	評価	A
目標	経験豊かな教員の実践的知識や指導技術を次世代に引き継ぎ、若手教員を確実に育成する。		
実施状況	<p>① 経験や職務内容に即した研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習や生徒指導など、実践的指導力の向上（初任者研修・10年経験者研修） ・専門職としての資質能力の向上（養護教諭・特別支援学級担任・事務主任・保健主事・生徒指導主任など） <p>② 町講師研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町採用非常勤講師（14名）研修会（4回） 教員としての心構え、研究テーマをもとにした授業実践、『実践報告書』の作成、研究協議会の開催 		

	<p>③ 不祥事根絶に向けた研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体罰・暴言、セクハラ・わいせつ、情報漏洩、交通事故・違反の防止 ・不祥事根絶に向けた小グループでの話し合いの取組
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町講師対象の研修会は、実践的内容であり、若手教員の育成に効果的であった。 ○ 若手教員の急増により、どの学校も、若手教員とミドルリーダーの育成にOJTを取り入れた研修を充実させた。不祥事防止に向けた研修に力を入れていく必要がある。

事業3-8	校務支援の推進	評価	A
目標	<p>会議等の削減、組織の効率化を図り、校務処理のIT化・共同実施化を推進し、教職員の負担を軽減する。</p>		
実施状況	<p>① 会議の削減・校務の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システム活用の推進（連絡掲示板、C4th会議室） ・ペーパーレスの導入、企画委員会や朝の打ち合わせの廃止・精選 ICT研修会（ソフトウェア活用研修会）の取組、定時退校日の設定 口座振替による学年費等の徴収 ・【豊山小】会議資料の電子化の推進、朝の打合せの削減、留守番電話の導入 ・【新栄小】ICT機器を活用した授業の展開、朝の打ち合わせの削減、部活動なし期間の設定、学校行事の見直し、会議資料の電子化の推進 ・【志水小】ペーパーレスへの取組、部活動終了時刻・活動日の見直し、「部活なし期間」の設定、学校行事の見直し、退勤予定時刻板（かえるボード）の活用 ・【豊山中】打合せ・会議の精選、「部活なしデー」の設定、校務支援システムの活用の推進、定時退校日の設定 <p>② 学校事務の共同実施の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C4thの活用による事務処理の効率化・適正化 子どもと向き合う時間の確保に向けて、C4th掲示板でのやりとりの実践 ・豊山町共同学校事務室としての事務処理 事務職員のOJTの推進 <p>③ 総合教育会議での審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育会議で働き方改革について審議し、体系的に取り組んだ。 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国や県の働き方改革の方針のもとに、教職員の多忙化解消のため、「会議の持ち方（回数・資料の削減など）の改善」「定時退校日の設定」「部活の休養日の設定」などの教職員の負担を軽減し、子どもと向き合い、教育に専念できる環境づくりを推進している。 ○ 地教行法第47条の5に規定されている、共同学校事務室については例規整備を行い、平成31年4月に立ち上げた。 ○ 共同学校事務室により校務の効率化を推進し、教職員の負担軽減に努める。 		

事業3-9	教員に対する支援チームの結成	評価	A
目標	保護者・地域からの要望には学校全体で対処し、その解決に全力を尽くす。状況に応じて関係機関との連携を図る。		
実施状況	<p>① 教員を支えるサポート組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域からの苦情には教員一人で悩まず、学校全体で対処し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、PTAを含む全校でのサポート態勢の確立 ・関係諸機関との連携・活用を積極的に図る <p>② 外部ボランティアやゲストティーチャーによる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【3小学校】老人クラブによる登下校見守り隊 ・【新栄小】「バラサポーター」のボランティア活動、「社会人に学ぶ」（豊山町在住の方から仕事の話聞く会） ・【志水小】「教えてもらおう 仕事のあれこれ」（保護者による仕事の話聞く会） <p>③ 企業・事務所との連携による支援（キャリア教育と兼ねる）</p>		
評価と改善策	○ 外部のボランティアや講師の協力的な支援は、多種にわたり、児童生徒の育成の手助けになった。必要性の増している通学路の安全確保をはじめとする学校をとりまく諸課題について、登下校での見守り隊や関係諸機関とのさらなる連携を進めるよう努める。		

事業3-10	キャリア教育の確立	評価	B
目標	キャリア教育の充実に取り組み、児童生徒の発達段階に応じた勤労観や職業観を育成する。		
実施状況	<p>① キャリア教育に関わる出前講座の活用【3小学校の実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生 地元音楽関係者による「いろはに邦楽」 中日本航空での「職場体験・見学」 豊山町在住の方から仕事の話聞く「社会人に学ぶ」 <p>② 職場体験学習・進路学習の実施【豊山中の実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大を受け、民間企業の受け入れ先を見つけることが困難であったため、職場体験学習の実施を見送った。 ・高等学校17校への「上級学校（高校）訪問」についても、感染拡大予防のため、実施を見送った。 		
評価と改善策	<p>○ 中学校での職場体験学習は感染拡大予防により実施できなかったが、小学校での出前講座や中学校での進路学習等を通して、職業観を育成するキャリア教育を推進した。特に、空港や航空機産業についての学習は、地元豊山町の将来を見据えた大切なキャリア教育教材であり、今後も推進するよう努める。</p> <p>○ 今後も、地域の人材や施設を積極的に活用し、専門的な知識をもっている社会人や職業人の外部講師から直接学ぶ機会を増やす取組で、勤労観や職業観の育成を進めるよう努める。</p>		

事業3-11	英語教育と小学校外国語活動の推進	評価	A
目標	小学校からの英語教育を充実させ、効果的な実施を進める。異なる文化や価値観を尊重し、豊かな国際性を育むために、国際理解教育の充実を図る。		
実施状況	<p>① ALT（外国語指導助手）の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTと専科教員とのTT（ティーム・ティーチング）による英語教育の推進 小学3年生からの英語によるコミュニケーション能力の育成 3・4年生「外国語活動」年35時間の実施、5・6年生「外国語」年70時間の実施 ※外国語専科教員の配置 【豊山中】主体的・対話的で深い学びを目指した音読劇の取組—ALTとのTeam Teaching— <p>② 英会話への挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 【豊山中】各種英語スピーチコンテスト入賞、英語朗読コンテスト優秀賞（英語部） グラント郡の学生との国際交流事業【オンラインによる交流】 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「外国語（英語）」の教科化を受け、外国語科専科教員を配置し、ALTとのTTを行うことにより、英語教育の充実が図れている。 ○ グラント郡の学生とのオンラインによる交流事業を実施し、外国人や英語に触れる機会を増やすことにより、国際理解教育の充実が図れている。 		

事業3-12	情報教育の推進	評価	A
目標	ICT機器を活用し、児童生徒に情報活用能力や情報モラルを育成する。		
実施状況	<p>① ICT機器の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 【3小学校】ICT機器の効果的な活用を現職教育のテーマに導入、デジタル教科書や書画カメラの活用、効果的で分かりやすい教材提示の工夫、ICT機器を取り入れた授業の質の向上、タブレットの活用、iPadの活用 【豊山中】授業でのICT機器の効果的な活用、タブレットの活用、ロイロノートの活用 <p>② 情報モラル育成の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 【全小中学校】「携帯スマホ安全教室」の開催 町作成保護者向け資料『ネットトラブルから子どもを守るために』の活用 【新栄小】「情報モラル教室」（6年生） 【志水小】「情報モラル教室」（3～6年生） 【豊山中】技術・家庭科での授業を核とし、他教科でのタブレットPCの活用、コンピュータやSNSで入手した情報の適切な活用能力の育成 <p>③ 実践の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛知県教育委員会主催の「ICT教育フェア」（令和3年1月開催）にて、高浜市教育委員会、豊田市立元城小学校と並び実践について発表 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器の積極的な活用によって、児童生徒に基本的な知識・技能を定着させることができ、情報活用能力の育成に寄与することができた。小中学校では、ICT機器（タブレットPCやiPad）の活用を進めている。 ○ 情報モラルの育成は、情報化社会において必要不可欠であるため、ICT機器の活 		

	用推進と併せて取り組むよう努める。
--	-------------------

事業3-13	就学援助の充実	評価	A
目標	児童生徒の教育機会を保障するため、保護者に対して経済的な援助を行う。		
実施状況	<p>① 就学困難者への援助の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助制度に基づいた援助の実施 ・経済的な理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者 ・経済的な負担軽減のための特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者 <p>② 教育振興事業による援助（全児童生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の副読本、冬休みの日誌、知能検査、学力検査（CRT） <p>③ 準要保護者への就学援助費・奨励費の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学学用品費・修学旅行費・学校給食費の支給 ・就学予定者への新入学学用品費前倒し支給の実施（平成30年12月から） 		
評価と改善策	○ 就学援助を必要とする保護者に、就学援助制度の周知を積極的に図り、経済的な援助を行うことで、適正な就学援助を充実させることができた。		

事業3-14	道徳教育の推進	評価	A
目標	これまでの道徳教育や体験活動の在り方を見直し、地域共同体の中において地域の人材による学校支援ボランティアを活用し、豊かな心を育成する観点を一層重視する。		
実施状況	<p>① 挨拶・ふれあいでの交流【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアによる登下校での挨拶運動と見守りでの交流 <p>② 読み聞かせの実施【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本への興味・関心を高め、読書習慣の育成と定着化 <p>③ 地域（学校）支援ボランティアによる交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大予防のため、実施せず <p>④ 道徳の授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の教科化に伴い、議論する道徳に向けた授業研究や研修の実施 ・評価方法についての検討 		
評価と改善策	<p>○ 多くの地域の学校支援ボランティアとの交流・ふれあいが、児童生徒の豊かな心の育成の一助となった。地域住民と子どもたちを結ぶ地域の絆づくりを今後も進めていく。</p> <p>○ 道徳の授業が生かされる交流活動の場となるように、工夫していく。</p>		

事業3-15	学校体育・スポーツ活動の推進	評価	A
目標	体力向上に向けた取組を学校体制で実施する。部活動や対外活動を支援するための外部指導員を拡充する。		
実施状況	<p>① 体力づくりの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山小】なわとび集会への積極的な取組 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・【新栄小】一輪車・なわとび運動・マラソン運動への積極的な取組 ・【志水小】なわとび運動・志水っ子ランニング ② 小学校での水泳教室 感染拡大予防のため、水泳指導を実施せず ③ 部活動での活躍 <ul style="list-style-type: none"> ・【中学校】＜豊山中学校の地区大会・愛日大会・県大会の主な結果＞ 新型コロナウイルス感染症拡大により大会中止 ④ 部活動振興事業 <ul style="list-style-type: none"> ・【豊山中】外部指導員による部活動支援（野球部・ソフトボール部） ⑤ 「部活動指導ガイドライン」の策定（平成30年10月） <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の総合的指導方針として策定した。
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染拡大防止のため、部活動の活動日数は例年より減っている。また、各種大会についても、小学校・中学校共に開催中止となった。 ○ 部活動指導ガイドラインにより、全小中学校が同一歩調で活動方針を打ち出すことができた。 ○ 外部指導者の拡充に向けては、部活指導の意義や指導方法と指導方針について学校との共通理解に努める。 ○ 感染拡大防止のため、小学校においては数回しか部活動を行うことができなかった。また、地区競技会も中止となったため、3小学校で練習会を実施した。

事業3-16	いじめ・不登校への対応	評価	B
目標	いじめを許さない学級・学校づくりを進める。スクールカウンセラーや専門家による学校支援の充実を図る。適応指導教室においては学校への復帰をめざす。		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 豊山町いじめ防止基本方針の策定（平成31年1月） ② 学校いじめ防止基本方針の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめはいつでもどこでもどの子にも起こりうる」ことの共通認識 ・いじめ・不登校対策委員会の開催（毎月1回） ③ 町いじめ問題等（不登校）対策委員会の開催（3回） <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導主任・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・適応指導教室担当・県家庭教育コーディネーター・担当校校長・教頭・町教育委員会の参加による情報交換と指導 ・「いじめに関するアンケート調査」（3回・無記名式）の実施 ・町作成の保護者向け啓発資料リーフレット（携帯・スマホ含む） 『ネットトラブルから子どもを守るために』の配付と効果的な活用 ④ 町適応指導教室「しいのき」の取組（小学生2名・中学生5名） <ul style="list-style-type: none"> ・入級児童生徒の学習支援や社会適応への取組 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを許さない全校態勢での取組の結果、継続した悪質ないじめはないが、年30日以上長期欠席の不登校児童生徒は、依然多い状況にあるため、相談体制の充実に努める。 ○ 町適応指導教室においては、創作活動・手芸工作・スポーツなど、児童生徒が意欲をもって取り組める多くの活動が企画されており、児童生徒が安心できる心の居場所として大きく役割を果たした。 		

事業3-17	生徒指導の充実	評価	A
目標	非行問題行動等に対しては生徒指導研修を充実するとともに、警察等町内外の学校関係機関と連携し、問題の早期発見と早期解決に努める。		
実施状況	<p>① 生徒指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣（挨拶・言葉遣い）の徹底と定着化への取組 <p>② 教育相談の充実（3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学期に1回、教育相談を行い、児童生徒の実態把握に努め、不登校や問題行動の未然防止と、問題の早期発見と早期解決への取組 ・ 休校明けの6月にアンケートを実施し、コロナによるストレス等、心の問題を抱えていないか実態把握に努めた ・ 児童生徒の心の居場所となるような学級・学校づくりに努め、児童生徒・保護者との信頼関係の構築 ・ ケース検討会（カウンセラーも含める）による情報の共有化 ・ スクールカウンセラーとの連携の強化（保護者へも対応） <p>③ 学校関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町教育委員会・町福祉課・町保健センター・町適応指導教室「しいの木」・中央児童相談センター・学校医・西枇杷島警察署生活安全課などの関係機関との相互連携を密にした、問題行動への未然・再発防止、早期発見と解決への取組 ・ スクールソーシャルワーカーの新設による町福祉部との連携の強化 		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級担任以外との教育相談の機会を設定し、学校全体で情報共有して児童生徒を見守る体制づくりを構築した。 ○ 警察や児童相談所との連携をさらに密にし、問題行動の防止と早期発見への取組を継続していく。 ○ 青少年育成会議による巡回指導が定着し、協力した取組が行われた。今後も、巡回パトロールの実施や自主防災パトロール隊との連携を深めながら、非行問題行動のない安心・安全なまちづくりの維持・継続に努める。 ○ 関係機関との連携のもと、全ての小中学校で落ち着いた学校生活が開かれた。 		

IV 文化財の分野

5年後の豊山町のめざす姿	文化財保護の意識が浸透し、町民と行政が協働で保護に向けて取り組んでおり、郷土の文化財が身近なものとして町民に親しまれるよう、広く活用されている。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業4-1	文化財の調査・保護	評価	A
目標	文化財の調査・研究に努めるとともに、民具などの郷土資料の収集を行うほか、既存の県・町指定文化財の保護に努める。		
実施状況	<p>① 文化財保護審議会の開催（1回・書面開催） <『まとめ』P41参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊山町の文化財保護行政について ・町指定文化財天然記念物「楠」（千松寺）について <p>② 指定文化財の保護・保存 <『まとめ』P41参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県指定文化財（有形2・寺社所有）、豊山町指定文化財（有形3・寺社所有）（記念物2・個人と寺社所有）（無形3・保存会所蔵）の保護・保存 <p>③ 郷土資料の収集と整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民から寄贈された民具などの郷土資料の収集と適切な保存 <p>④ 町史編纂事業<『まとめ』P42参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町制施行50周年に向けた町史の編纂事業 		
評価と改善策	<p>○ 文化財保護審議会は新型コロナウイルス感染防止の観点から書面開催とし、令和2年度、3年度の文化財保護に関する取組や町指定文化財の「楠」の現状について委員に意見を求めた。</p> <p>年度末に文化財管理奨励交付金を県指定2件（有形2件）、町指定8件（有形3件、記念物2件、無形3件）に支払う際に、火災や盗難に関する呼びかけを行い、文化財の保存・保護に努めた。今後も、指定文化財の適正な保存管理のため、奨励交付金を継続していく必要がある。</p> <p>○ 住民から寄贈された民具などの郷土資料について適切に収集・保存されている。</p> <p>○ 令和3年度末の刊行を目指し、町の行政史をはじめとした豊山町史の編纂を平成30年度から行っている。令和2年度から原稿の執筆が開始したので、町史編さん委員会を2回開催し、原稿内容の検討を行った。また、資料も広報とよやまで5回呼びかけ、56点の資料を収集した他、関係者による座談会を2回開催し、情報収集に努めた。令和3年度は最終年度のため、原稿の校閲や写真の選定など最終段階の業務を行う。</p>		

事業4-2	文化財保護意識の醸成と担い手の育成	評価	A
目標	文化財マップの作成や文化財研究会との連携を通じて、町民の文化財保護意識の醸成を図り、文化財保護を担う人材を育成する。		
実施状況	<p>① 文化財の啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財研究会が作成した『とよやま文化財まっぷ』の配布と活用 ・身近にある郷土の文化財に気付き、その保護に努める意識の醸成 ・歴史講座の開催（2回） <p>② 文化財友の会の育成と支援事業 <『まとめ』P41参照></p>		

	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料室の整理、運営の補助、見学時におけるガイド <p>③ 歴史講座の開催 <『まとめ』P41参照></p> <ul style="list-style-type: none"> 内容：歴史講座 ～明智光秀とその時代～（全2回）
評価と改善策	<p>○ 文化財保護審議会は新型コロナウイルス感染防止の観点から書面開催とし、令和2年度、3年度の文化財保護に関する取組や町指定文化財の「楠」の現状について委員に意見を求めた。</p> <p>年度末に文化財管理奨励交付金を県指定2件（有形2件）、町指定8件（有形3件、記念物2件、無形3件）に支払う際に、火災や盗難に関する呼びかけを行い、文化財の保存・保護に努めた。今後も、指定文化財の適正な保存管理のため、奨励交付金を継続していく必要がある。</p> <p>○ 文化財友の会は生涯学習課の依頼に応じ、郷土資料室に係る運営の補助を行った。また、小学生及び豊山町女性の会の郷土資料室見学時におけるガイドを行った。</p> <p>○ 歴史講座は「明智光秀とその時代」をテーマに明智光秀の生涯とその時代に触れた。当時の話題になった歴史の人物を取り上げ、町民のニーズに合った講座を提供することができた。</p>

事業4-3	文化財資料の活用促進	評価	A
目標	郷土資料室での郷土資料の展示方法を継続的に改善・充実するとともに、学校教育でも効果的に活用するなど、魅力ある地域社会の創造に向けて郷土資料を有効に活用する。		
実施状況	<p>① 郷土資料室の整理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 常設展の展示（豊山の歴史・民俗） 民家の再現・出土品・古地図・農具・民具・竹細工などの展示 郷土資料室の所蔵している民具などの紹介と啓発 倉庫の大規模整理 写真・資料番号の再編し、新たに台帳（写真付き）を作成 <p>② 郷土資料室展示方法の改善事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土資料室改修展示調査・検討 郷土資料室リニューアルに向けた、展示の基本構想・基本計画を作成 企画展の開催 第1回：郷土人形展示 第2回：戦争と平和展 第3回：冬の風物詩展 		
評価と改善策	<p>○ 郷土資料について、テーマごとに企画展を年3回開催し積極的な情報発信に努めた。</p> <p>町制施行50周年の郷土資料室リニューアルに向けて、調査委託を実施し、展示の基本構想・基本計画を作成した。また、郷土資料室倉庫の大規模整理を行い、写真・資料番号の再編し、新たに台帳（写真付き）を作成した。</p>		

V 芸術・文化の分野

5年後の豊山町のめざす姿	芸術・文化によって、町民の豊かな心が養われ、地域社会に潤いがもたらされます。また、指導者の発掘育成や練習場所、発表機会の充実により、自主的な活動を活発に行われている。	総合評価	A
--------------	---	------	---

事業5-1	芸術・文化活動の推進	評価	S
目標	文化振興事業やサロンコンサートを行い、町民に多くの優れた芸術・文化に触れる機会を提供する。また、町文化協会と協力して町民が自主的に行う文化活動を支援し、活動成果を発表する機会を提供する。		
実施状況	<p>① 文化振興事業の推進 <『まとめ』P36参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「秋川雅史コンサート～聴いてよく分かるクラシック～」入場者数150人【前年比178人減】 文化振興事業実行委員会（10人）による運営を実施した。 <p>② お昼のときめきコンサート事業の開催 <『まとめ』P36参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月「お昼のときめきコンサート 夏」とよやまチャンネルで放送、 9月「お昼のときめきコンサート 秋」入場者数22人、 12月「お昼のときめきコンサート 冬」入場者数35人、 3月「お昼のときめきコンサート 春」入場者数45人 <p>③ 文化展・芸能発表会の支援事業【中止】 <『まとめ』P37参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会主催の文化展・芸能発表会は新型コロナウイルスの影響により中止とした。 		
評価と改善策	<p>○ 文化振興事業は、令和2年度より実行委員会形式による運営を実施した。新型コロナウイルス感染防止対策として、申込方法を往復はがきとし、定員を設け、間隔を空けた指定席とした。そのため、前年より大幅に入場者数が減少している。当日も手指消毒の実施や検温等の実施を行ったが、混雑することはなかった。申込から当日の運営までスムーズな対応を取ることができ、町民に質の高い芸術文化に直接触れる機会を提供することができた。</p> <p>○ お昼のときめきコンサート第1回目については新型コロナウイルス感染防止のため、開催はせずにとよやまチャンネルで演奏の様子を放送した。第2回目以降は新型コロナウイルス感染防止対策を講じながらアンケートで希望のあったジャズコンサートやベートーヴェン生誕250周年に係るコンサートなど工夫を凝らしながら、町民が気軽に文化・芸術をふれることができる貴重な機会を提供することができた。</p> <p>○ 文化協会の自主的な運営による文化展と芸能発表会は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じても、なお、参加者の安全確保及び適切な運営を図ることが困難なことから、中止が適当と判断した。</p>		

事業5-2	文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援	評価	A
目標	町民自らが自由にあらゆる場所、あらゆる機会を利用して芸術・文化活動を行		

	うことができるよう、町文化協会の活動を支援するとともに、芸術・文化グループなどの育成と支援を行う。
実施状況	<p>① 文化振興団体の活動と支援事業 <『まとめ』P37～39参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会への助成支援 ・加盟団体（25クラブ）の活動 <p>14芸能部（豊山木遣保存会・豊山民謡クラブ・豊山太鼓研究会・尾張豊山太鼓・神楽保存会・詩吟教室・豊謡会など）</p> <p>11文化部（陶芸クラブ・囲碁将棋クラブ・手芸スクール・豊山俳句クラブ・豊山写真クラブ・絵画クラブ・華道真豊会など）</p>
評価と改善策	<p>○ 文化協会に対して社会教育関係団体補助金を交付した。また、補助金の趣旨に基づき適正に執行されるよう指導した。</p> <p>文化協会においては新型コロナウイルス感染拡大のため、文化展、芸能発表会が中止となった。一方、文化ふぉーらむは新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催した。</p> <p>今後も引き続き支援するとともに、事業費補助金として、明確な用途のもと適切に執行されているか検証する必要がある。</p> <p>○ 文化協会会員の高齢化に伴い、クラブ数、会員数が減少している。広報とよやま、町ホームページ、とよやまチャンネルなどのメディアを活用して加入促進と次世代の育成を図っていく必要がある。</p>

第四部 学識経験者による評価

豊山町教育事務執行等外部評価委員（敬称略）

前田 治	愛知学泉大学 教授
平手 ゆり子	愛知県教育公務員弘済会 参事

外部評価委員会開催日時

第1回外部評価委員会	令和3年7月26日（月）	14:00～16:00
第2回外部評価委員会	令和3年8月25日（水）	14:00～16:00

1 前田 治 委員による評価

◎ 教育委員会の会議及び活動状況についての評価

I 教育委員会会議の開催と審議状況

- 新型コロナウイルス拡大のため、各行事や会の開催が制限される中であって、感染予防を徹底し昨年度より多くの議案を審議してきたことを評価したい。教育委員と事務局の積極的な意見交換によって、豊山町教育の大綱に掲げられている「豊かな心と生きる力に満ちた人を育む」という理念の実現に近づいていると推察できる。S評価相当でもよいと考える。

II 教育委員会の活動状況

- 感染拡大予防のため、行事等の参加を見送ったことは適切であった。そのような中、書面開催ではあったが、他の市町との意見交換会議は、有意義なものであったことだろう。おそらく、新型コロナウイルス対策も話題になったことと思うが、それらから参考になった事案があれば教えていただきたい。
- コロナ禍であるがために、見えてくるものがある。恒例として実施されてきたものが、本当に必要であったかどうか検討する機会が得られたと考えたい。コロナ禍が終息した後も書面やメール交換で目的が達成されるものはないか、検討したい。

◎ 主要施策と事業についての評価

I 生涯学習の分野

事業1-1 生涯学習のまちづくりの計画的な推進

- 豊山町第5次総合計画の「小さくてキラリと輝くまちづくり」の指針を受け、令和2年度にスタートした生涯学習を核に据えたまちづくりについて、必要な審議が行われている。とりわけ、読書活動の充実に向けて、豊山町子ども読書活動推進計画（第3次）について、パブリックコメントを求めるなど、町民の意見を積極的に生かそうとしている点、評価したい。

事業1-2 学ぶ機会の充実

- 新型コロナウイルス対策として、講座等における申し込み方法を、インターネット上での申し込み方法を検討しつつ、講座参加の年齢層を考慮して、往復はがき方式にしたことを評価したい。

- 新型コロナウイルスの影響で、どの程度実施されたかは把握していないが、町職員が講師となり行う出前講座は、町民とのつながりを深め、災害等の緊急時の協力体制にもよい相乗効果を与えられ、今後も継続したい。

事業1-3 学習活動支援の人的体制の整備

- ボランティアバンクには、講師として様々な分野の方が登録している。それを講師一覧にして、生涯学習情報誌「生きがいタウン」で分かりやすく紹介されている。さらに活用を推進するには、すでに実施されているかもしれないが、地元のケーブルテレビで活動の様子や講師紹介を行い、PRをしていくことを薦めたい。
- 「ふれあいひろば」での体験活動は、ボランティアバンクが十分に活用されている。
- 「一般」での体験活動におけるボランティアバンクの活用がなかった理由が、新型コロナウイルスの影響なのかどうか見極めたい。

事業1-4 学習情報の提供と学習相談体制の整備

- 情報提供について、様々な世代の多くの人を訪れるコンビニでの情報誌配布はよいアイデアである。また、メディアの活用も積極的に推進されているなど、評価したい。ホームページの工夫では、設定されていなければ「生涯学習」というくくりのバナーを設定してもよい。

事業1-5 学習環境の整備と活用

- 新型コロナウイルスの影響で、豊山スカイプールを休場したことは適切な対応であったと考える。一日も早くコロナ禍が終息し、プールでの歓声が戻ることを願っている。
- 学習環境の整備は、多額の費用を要する。予算との兼ね合いで他の部署、または課内の優先順位などを考慮しなければならない問題である。そのような中であって町民が施設を少しでも活用しやすいように、図書室内の全ての本についてインターネットによる予約システムを取り入れたことは評価したい。
- 新型コロナウイルスの影響で利用自粛等の決定など、目に見えない努力があったことが推察できる。

事業1-6 読書活動の推進

- 子どもの文字離れが問題視されている中、それを踏まえつつ、第3次子ども読書活動推進計画の策定がなされている。今後計画に基づき着実な実行を期待する。
- 年間資料貸出数は、新型コロナウイルスの影響による減少で、納得である。また、親子読書会が、すべて中止になったことは残念であるが、当然の対応と考える。

事業1-7 社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進

- 新型コロナウイルスの影響で「町民体育大会」「とよやまエアポートビューマラソン」を中止としたことは賢明な判断であった。
- 愛知県市町村対抗駅伝競走大会では、以前より順位が上がった結果が得られてきており、町民の関心が高くなってきた中、大会が中止になったのは残念であった。
- コロナ禍にあるからこそ、オンラインを活用しながら、他地区との情報交換を活発にし、知恵を出し、どのような条件なら開催できるか検討したい。ヒントはオリンピックにおけるコロナウイルス対策の中にあるかもしれない。いずれにしても、社会体育・生涯学習スポーツ活動を町の

シンボル行事として、さらに創意工夫をして町の活性化につなげていきたい。

II 家庭教育の分野

事業2-1 家庭の教育力向上への支援

- 「絵本で子育て楽しみませんか?」「子どものアレルギーの基礎知識とケア」の参加が少ないのが気になる。新型コロナウイルスの影響なのかどうか教えていただきたい。
- 家族芸術劇場の中止は残念であるが、コロナ禍にあって致し方ない。
- 家庭教育後援会の「小学校プログラミン教育」がどのような内容で実施されたか、教えていただきたい。

事業2-2 地域の教育力向上への支援

- 「子どもは地域で育てる」という理念のもと、子どもの居場所づくりを積極的に推進していることを評価したい。多世代参加型の教室を企画していることは、交流の場にもなり、指導者の後継者づくりにつながることを期待したい。
- 「放課後子ども教室・児童クラブ」について、運営委員会で行われた情報交換が事業の充実に生かされることを期待する。

事業2-3 子どもの豊かな心を育む学習支援

- 青少年育成として、街頭補導等、地道な常時活動が非行の未然防止に結びついていると考えられる。小中学校の標語募集は継続したい。
- スポーツ少年団や、子ども会の活動の充実によって、子どもたちの豊かな心が育まれていると感じる。
- 東京オリンピックが、変則実施になっているのは残念である。東京オリンピックの映像を通して夢と感動を伝えてはどうか。

III 学校教育の分野

事業3-1 地域に開かれた学校経営の推進

- 地域の学校として、学校評価のアンケートの分析や学校評議員や保護者の声に真摯に耳を聴ける姿勢は、評価できる。今後も地域に一層開かれた学校経営に期待したい。また、保護者を巻き込んだキャリア教育の実施は継続したい。

事業3-2 学習指導・教育環境の整備拡充

- 環境整備では、夏の気温が上昇傾向にある中、熱中症対策等への配慮も含め、全小中学校の特別教室の空調設備工事の完了、GIGAスクール構想への対応は、評価したい。タブレットは、基本学校保管でしょうか。
- 予算上の制限はあるが、校舎の老朽化への計画策定が進められ、学習環境の改善が計画的に進められていることを大いに評価したい。中学校の新校舎は「おらが町の学校」と、子ども達や地域住民が誇りに思う校舎としたい。

事業3-3 特色ある学校教育の推進

- 中学校1年生全生徒参加のスキー研修は、愛知県の市町村に類のない特色ある体験活動である。新型コロナウイルスの影響で、中止になったのは非常に残念である。この研修は、生徒が歳を重

ねても、語られるであろうし、強い思い出になると思われるので、2年生になってからの実施が可能であるか検討したい（予算との兼ね合いもあるが）。

事業3-4 健やかな児童生徒の育成

- 全体的に安心安全への取り組みが十分になされている点、高く評価したい。
- 児童・生徒が抱えている日常生活の悩み、いじめ、暴力行為、虐待などに対応するスクールソーシャルワーカーを新設し、心の健康にも目を向けたことも高く評価したい。

事業3-5 安全で安心できる学校給食の提供

- 新給食センターの利点を町民にアピールするとよいかもかもしれない。
- 新型コロナウイルスの影響で地域の伝統的な特色を生かした「どじょう寿司」の提供が中止になったことは残念である。食育を通して郷土を愛する心を育てることは意義があるので、食の安全に十分配慮し継続したい。
- エピペンの必要な子どもや、食物アレルギーをもっている子どもに最善の注意が払われている。すでに留意されていると思うが、宿泊を伴う行事では、一層注意を払うことが重要である。

事業3-6 教員の資質向上

- 現職教育の研究テーマに基づき各学校、研究主任を中心に研究と修養が実践されていると思う。
- GIGAスクール構想に向けて適切に研修が実践されている。
- 町として教員の自主的な研修を予算面から応援するようなプログラムがあってもよい。

事業3-7 魅力ある教員の養成

- 非常勤講師を対象にした研修会が、充実していることを評価したい。非常勤も含めて学校の教職員であり、一丸となって子どもの教育にあたるためにも重要な研修である。
- 不祥事は学校の信用を失う。そこで危機管理という側面からも、不祥事根絶に向けて小グループでの話し合いを実施したことを評価したい。不祥事根絶のための研修を、事例を基に町内一斉で行うなどして、起こさないという意識を常にもたせたい。

事業3-8 校務支援の推進

- 国等の働き方改革が大きく話題になる前から、学校事務の共同実施化・定時退校日・部活なしデー・校務支援ソフトの活用等、積極的に取り組んでいることを評価したい。
- 働き方改革が、多忙化の解消につながり子どもと向き合う時間になっているかどうか、意見を集約したい。

事業3-9 教員に対する支援チームの結成

- スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、PTA・地域の学校支援ボランティアやゲストティーチャー等、多くの協力体制が確立している。このような地域社会や関係機関との連携は、「地域の学校」としての意識を高め、教員にとって心強い。
- 昨今、複雑な家庭もあり、スクールソーシャルワーカーの活用に注目したい。
- 長年、登下校の見守りを行っている方への表彰制度はあるのでしょうか。

事業3-10 キャリア教育の確立

- キャリア教育は「望ましい職業観・勤労観、職業に関する知識等を身に付けさせる」、「自分の個性を理解し、主体的に進路選択する力を育てる」教育である。新型コロナウイルスの影響で、中学校の職場体験や上級学校訪問が中止になったのは残念である。
- キャリア教育の推進にあたり、航空関連など豊山町の特色と関連付けた実践が行われていることを評価したい。

事業3-11 英語教育と小学校外国語活動の推進

- 新型コロナウイルスの影響で、グラント郡との訪問交流が中止になったのは、残念である。ただ、オンラインで実施できたことは高く評価したい。時差の問題などもあり準備に相当な苦勞があったことが容易に想像できる。担当になられた方の労をねぎらいたい。
- 外国語専科教員の配置は、豊山町の全小学校でしようか。

事業3-12 情報教育の推進

- 豊山町は、パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を導入するなどICT教育は進んでいる。評価したい。
- 全国的にSNS等に起因する被害は増加傾向にある。そのような中、情報や情報技術の特性（発信情報の拡散、非消去）について、理解させ情報モラルを身に付けさせることが重要である。それに対し、携帯スマホ安全教室が保護者も交え、全小中学校で実施されたのは意義深い。毎年実施されたい。

事業3-13 就学援助の充実

- 就学援助の制度について、豊山町の公式ウェブサイトに見やすく表示されるなど、周知が徹底されている。
- 就学援助法に基づき適正な運営がなされている。S評価相当でもよいと考える。

事業3-14 道徳教育の推進

- 道徳教育の要に道徳の授業が据えられているが、道徳の時間が特別の教科として道徳科になり、一層の充実が求められている。地域の特色を取り上げるなど、豊山町独自の教材開発（資料発掘）を進めてもよい。
- 各小中学校で、心を養う様々な体験活動が実施されているので、この体験活動と道徳科を結び付けた授業が充実されるとよい。
- 「道徳の授業が活かされる交流活動の場」とは具体的に何か教えていただきたい。

事業3-15 学校体育・スポーツ活動の推進

- スポーツは、人間の可能性の極限を追求する営みであり、スポーツに打ち込むことは、体力向上、ストレスの解消、多様な価値観を認め合う機会となる。新型コロナウイルスの感染の影響で各大会が中止になったのは残念である。
- 部活動が過剰にならないようにガイドラインを決めて推進されていることは評価できる。
- 今日、地球温暖化傾向を受け、熱中症で倒れる子どもの数も増加している。是非、その危険度を認識できるように水分補給や休憩時間の確保等、専門家の意見を聴きながら独自指針を定めてもよい。

- 事業2-3でも述べたが、東京オリンピックが、変則実施になっているのは残念だが、映像を通して夢と感動を伝えるなど、一層の充実の契機としたい。

事業3-16 いじめ・不登校への対応

- いじめや不登校は、いつでもどこでもどの子にも起こりうる。その危機感を持って対策を進めることが重要である。その点、いじめ問題等対策委員会や適応指導教室「しいのき」が適切に開催されたり、組織的に運営されたりしていることは、評価したい。
- 先の情報教育の内容と深く関連するが、統計的にSNS等に起因するいじめ、そのいじめによる不登校は、小中学校共に、確実に増加している。また、そのいじめは見えにくくなっており、早期発見に向けて情報交換は欠かせなく、その機会の充実に努めたい。学校だけではなく住民も含めて、子ども達の些細な変化や違和感を見逃さないことが重要である。
- 不登校の増加については、「令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果（文部科学省）」と比較しながら不登校の理由や背景を分析しておきたい。

事業3-17 生徒指導の充実

- 生徒指導で重要なのは、どの子も善くなりたいと思っているということを感じることであり、そのために関係機関との連携や教育相談の充実、そのうえでの情報交換、情報共有は欠かせない。その点、充実した取り組みがなされている。
- 教育相談では、相談内容を学校でしっかり共有することが必要で、複数の教員の目で、子どもを守っていきたい。
- 問題が起きてから対処する消極的生徒指導から、未然防止に重きを置いた積極的生徒指導になるように、今後も努力していきたい。

IV 文化財保護の分野

事業4-1 文化財の調査・保護

- 町制施行50周年を機会に、文化財の調査研究・町史編纂が、一層推進されることを望む。

事業4-2 文化財保護意識の醸成と担い手の育成

- 後継者づくりは、この分野に限らず難しい課題である。そのような中、文化財保護を社会科の地域教材として取り上げるなど、担い手の育成につながるように学社連携を図ることが大切である。
- 歴史講座は、ぜひ継続していただきたい。町制施行50周年では、歴史学者 磯田道史（いそだ みちふみ）氏を招いてはどうか（講師料は高いはず）。

事業4-3 文化財資料の活用促進

- 郷土資料室のリニューアルが楽しみである。小中学生や一般住民が郷土の文化財資料に触れ、学ぶ場にふさわしい、豊山町らしさを全面に押し出したリニューアルに期待したい。
- 改修後の案内や、ボランティアの活用も検討していきたい。

V 芸術・文化振興の分野

事業5-1 芸術・文化活動の推進

- 新型コロナウイルスの拡散が心配される中、開催をせずに「とよやまチャンネル」を活用して

発信したことは、高く評価したい。

- より質の高い芸術文化に触れることのできる事業にするために、住民アンケートを実施し、その結果を反映したコンサートは、高く評価したい。
- 町民が芸術・文化振興事業を楽しみしている各事業が、新型コロナウイルスの影響で中止になったことは残念であった。

事業5-2 文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援

- 文化団体の高齢化は、豊山町だけではなく、どこの市町も抱えている問題である。伝統的な質の高い芸術・文化活動における後継者づくりは、難しい課題である。地道に、すそ野を広げる活動を行うことが重要である。その活動に「誰か一人連れてくる」というような取組みを継続的に行うなど、今後も住民で知恵を出し合い、後継者を育てていきたい。

2 平手 ゆり子 委員による評価

◎ 教育委員会の活動状況についての評価

I 教育委員会会議の開催と審議状況

- 会議の開催数が適切であり、代決処理を含む多数の議案の審議・可決、各種議題や事業の進捗状況の報告受理など、様々な教育課題に速やかに対応できる組織運営がなされている。
- 議事録など、ホームページでの情報公開も効果的である。

II 教育委員の活動状況

- 感染拡大予防のため、ほとんどの会議や行事が中止または書面開催となった中、早急に必要とされる学校の休業対応など、前例のない状況に対し、学校や関係諸機関・他市町との連絡調整を密にし、迅速かつ的確な判断・指示がなされたことを大いに評価する。

◎ 主要施策の事業についての評価

I 生涯学習の分野

事業1-1 生涯学習のまちづくりの計画的な推進

- 「第3期基本構想・基本計画」の初年度にあたり、生涯学習審議会が、教育分野・ボランティア分野・関係町民団代表に加え、公募委員で構成されているところがよい。今後も町民のニーズを踏まえ「豊かな心を育むまちづくり」をめざし邁進されたい。
- 子どもの読書離れが懸念される中、「豊山町子ども読書活動推進計画（第3次）」が策定できたことは大変素晴らしい。

事業1-2 学ぶ機会の充実

- 感染防止の観点から、従来通りの開催ができない中、申し込みを往復はがき方式にするなど、安心安全を第一においた様々な工夫がなされた。町民の学ぶ機会を拡充するため、今後もより良い方式をどんどん考案されたい。
- 出前講座に関しては、介護保険や国民年金の話など、若い時から知っておいた方がいい内容もあるので、働き盛りの多い職場単位で開催してもらえるよう働きかけをしてみたい。

事業1-3 学習活動支援の人的体制の整備

- 「ふれあいひろば」でボランティアが有効に活用され、子どもたちと地域の大人が交流を深め、自主的に体験活動ができている点が良い。対象者が「一般」で日時・場所が決まっていない活動については、活用しにくい面もあると思うが、利用促進に向け努力されたい。

事業1-4 学習情報の提供と学習相談体制の整備

- 「生きがいタウン」は写真が効果的に配置され、手に取り読みたくなるように編集されている。往復はがきでの申し込み案内も分かりやすく、希望者に公平にチャンスが与えられているところが良い。将来的に、スマートフォンやタブレット利用者がほとんどの時代となればウェブシステムでの応募も視野に入れていきたい。
- 広報とよやまの「まなびすと」ページや「とよやまみんなのチャンネル」での情報提供は、生

涯学習への興味関心を高めたり、イベントの様子を周知したりするのに大変有効で、今後も大いに活用されたい。

- 町ホームページのトップページやサイトマップに「生涯学習」のタブがあればさらに検索しやすくなる。また、若い世代が利用しやすいフェイスブック等のソーシャルメディアについては、掲載情報の安全性に配慮しつつ、さらに積極的に活用されたい。

事業1-5 学習環境の整備と活用

- 社会教育センターは町民の生涯学習の拠点であり、利便性や利用率の高さは誇れるものであると考えられる。また、学習等供用施設も幼児から大人まで身近に利用できる施設としてきちんと整備されている点が良い。この度の緊急事態宣言発令等に伴う利用制限は、町民の安全を考えれば当然のことであり、町民の理解は十分得られている。スカイプールの休場も適切な判断である。
- 利用自粛の中で図書室の在架予約システムの導入や施設の改修計画等、できることを着実に進めていった点を評価する。

事業1-6 読書活動の推進

- 年間資料貸出数が減少し、考案されたイベントが中止となったのはやむを得ない。その中で「第3次子ども読書活動推進計画」を策定でき、今後の読書活動の推進方策に期待がもてる。

事業1-7 社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進

- 町民体育大会、愛知駅伝、エアポートビューマラソンなど、町民に愛され応援される活動はこれからも大切にしていくべきである。コロナ禍の終息が切に待たれる。
- スポーツ講座は、町民の健康の維持・増進に大きく寄与している。また、多世代参加型の企画は、町民のふれあいの場としても重要であり、今後も安全を確保して運営していくよう期待する。

II 家庭教育の分野

事業2-1 家庭の教育力向上への支援

- 乳幼児学級は、子育ての不安解消に大いに参考となる。福祉課や保健センターとの連携を密にし、父親の育児参加や支援制度の紹介など、内容を吟味して進められたい。
- 家庭教育講演会は、「小学校のプログラミング教育必修化」をテーマにした点が良い。小中学生の保護者が興味をもてる内容とするため、聴講するだけの講演会から脱却し、「タブレットで学習」「英語授業の実際」など、模擬授業や体験型のワークショップ形式もいいのではないかと考える。

事業2-2 地域の教育力向上への支援

- 「ふれあいひろば」事業は、子どもの居場所づくりに効果的で、今後も継続充実を期待するものである。新たな指導者の発掘に尽力してほしい。
- 放課後子ども教室には、児童クラブとはやや異なるニーズがあることは確かだが、運営はなかなか難しいものと捉えている。国の「子ども庁」新設の動向を見極めつつ、放課後の児童を安心して任せられる町独自の運営方法について関係部局と相談し、調査・研究を続けていかれたい。

事業2-3 子どもの豊かな心を育む学習支援

- 青少年育成会議を中心に関係諸団体と協力し、青少年の健全育成を目指し、地道に活動を継続

されていることに敬意を表する。

- スポーツ少年団は、生涯体育の素地を養うことにおいて歴史と実績を持つ大変有意義な活動であり、登録率が22.2%と増えている点が素晴らしい。指導者の力量向上や各チームの発展を願い、指導者講習会の実施など、一層の手厚い支援を期待したい。
- コロナ禍で子ども会のほとんどの行事が中止となってしまい残念であったが、これを機会に、子ども会役員の負担を軽減できるよう、各行事の見直しを図ることも必要ではないかと考える。

III 学校教育の分野

事業3-1 地域に開かれた学校経営の推進

- 学校評価委員会の活動も定着してきており、学校経営の改善に役立っている。また、委員の意見を早速採り入れ、キャリア教育に生かしたことは素晴らしい。
- 各校ともこれまで、地域講師を活用した授業や、地域住民も参加可能な学校行事を様々に工夫してきたが、感染拡大防止のため実施できなかったことは致し方ない。

事業3-2 学習指導・教育環境の整備拡充

- 校内LANの設置やGIGAスクール構想における1人1台タブレット端末の活用開始など、ICT学習環境が一早く整備されたおかげで、登校できない時の家庭学習についても対策が練りやすかったのではないかと安堵した。
- 「将来的な建替えも含めた改修計画」の策定には、学校関係者一同、多大な期待を寄せているであろう。多額な費用を要することなので困難を極めると思うが、地道かつ強力に進めていただきたい。

事業3-3 特色ある学校教育の推進

- これまで、各校で航空産業や町の食文化・伝統芸能など、新旧を網羅した学習活動が展開されてきたが、実施できず悔しい思いをされた方も少なからずおられるであろう。世の中の状況が落ち着いたら是非再開されたい。
- 中学1年生のスキー研修は、他市町では味わえない貴重な体験活動である。感染予防対策を万全にし、今後も継続実施できるよう切にお願いしたい。

事業3-4 健やかな児童生徒の育成

- 各校で保健学習、安全点検が年間計画に基づき適切に実施されている。また、交通安全や不審者対応など日々の見守り活動が確実に機能しているからこそ、事件・事故が未然に防がれていると言える。
- 障害や悩みを抱えている児童生徒の安全・安心を保障する町支援員・スクールカウンセラーに加え、スクールソーシャルワーカーが配置されたことが大変有難い。
- 以前、保健センターの職員が、町で生まれた子やその親を全て知っていることに驚いたことがある。乳幼児期から学童期・少年期までの成長状況について時系列に沿って把握し、相談活動を進めていけば、児童生徒の健全育成に必ず役立つと考える。「顔の見える町」の利点を生かし、子育て関連機関同士の情報交換を一段と緊密にすることをお勧めしたい。

事業3-5 安全で安心できる学校給食の提供

- 何よりも積年の希望であった新給食センターが稼働し、給食を作る人・食べる子どもの健康安

全が確保されたことを嬉しく思う。最も高く評価したい項目である。

- 食物アレルギー対応食の提供は、手間暇のかかる困難な作業となるが、該当児童生徒と保護者にとっては大変有難い。誤食事故を防ぐため、センター・配膳員・確認者・担任・喫食者等関係者全員が共通理解を図り、個々への対応をきめ細かに進めていただきたい。

事業3-6 教員の資質向上

- 20代30代の教員が大半を占める今、在宅勤務という未曾有の事態に混乱した教員もいたであろう。しかし、逆にリモートシステムやタブレットを活用した学習の教材研究など、指導力向上につなげた事例も多々あったと推察する。町のICTシステム整備や研修が誠に時宜を得ていた。

事業3-7 魅力ある教員の養成

- 県や地区の教員研修が極めて少なくなった今年は、各学校でのOJTの手法を採り入れた研修が一層効果的であったと考える。不祥事根絶は、様々な場面で起きた事例を検証し、「自分はない」という強い意志を育てることが必要となる。校長・教頭のリーダーシップに期待したい。
- 町採用非常勤講師の手厚い配置は、本町の誇りである。児童生徒の気持ちに近い人材がいることで少人数指導や個別指導を適時行うことが可能となり、問題行動件数は、町講師採用以前に比べ、確実に減っている。本務教員を目指す講師にとっても、現場での経験は毎日が研修であり、将来の教員人材育成に貢献していると断言できる。この施策の維持継続は必須である。

事業3-8 校務支援の推進

- 教職員の多忙化解消に向け、町内4校が、近隣市町の動向を踏まえつつ、校務の見直しを進めている。小学校の部活動、中学校の部活動の在り方については、児童生徒・保護者・指導者とも賛否両論で意見は分かれるではあろうが、教員本来の職務優先との立場で支援をお願いしたい。
- 学校事務の共同化が着実に進んでいる。

事業3-9 教員に対する支援チームの結成

- 児童生徒の不登校・問題行動の裏には、育児放棄などの児童虐待や貧困、発達障害が隠れているケースが高い割合であると聞く。本町の場合、地域ボランティアによる学習支援・安全支援はかなり充実しているので、児童生徒及び教員の「心の問題」の解決にあたる支援チームの結成が次の課題となろう。スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーへの期待は大きい。また、困難な問題が起きた場合、法律の専門家のアドバイスが欲しい。町の弁護士と校長が話をする機会があると良い。

事業3-10 キャリア教育の確立

- 職場体験学習や進路学習が思うようにできず、中学校は相当苦心されたと思う。ネット上の情報ではインパクトは弱いかもしれないが、リモート講演や動画で職場拜見など色々試してはどうか。

事業3-11 英語教育と小学校外国語活動の推進

- 小学校英語の教科化に伴い、ALTや外国語専科教員の配置に尽力された。小学生からネイティブ英語に触れられることは、大変良い。
- 空港の町であるとの自負の下、町民は国際的に活躍する人材に憧れを強く持っているように感

じる。英語を話す必要性を感じる機会が多いほど、学習意欲は高まる。 Grant 郡訪問は叶わなかったが、オンライン交流もまた楽しかったであろう。今後も国際交流を積極的に後押ししていただきたい。

事業 3-12 情報教育の推進

- ICT機器を使うだけでなく、情報モラル教育を適切に進めている点が極めて良い。本町の教員はICT活用能力が高いと感じるが、それが児童生徒の活用能力向上にも十分反映されている。「ICT教育フェア」にて実践発表したことは特筆に値する。もっと高く評価してよい。

事業 3-13 就学援助の充実

- 従来、本町は行政の住民支援が手厚く、外国籍の児童生徒への支援も充実している。コロナ離職等で全国的に貧困家庭の増加が懸念される中、引き続き親身で細やかな相談活動を通して、就学困窮者を救っていただきたい。

事業 3-14 道徳教育の推進

- 道徳が教科化され、各校では「考え議論する道徳」の授業をどの学級でも実践できるよう指導方法の工夫改善を図り、適切な評価の在り方について理解を進めてきたところであろう。校内研修に引き続き力を入れることが望ましい。

事業 3-15 学校体育・スポーツ活動の推進

- 高校野球の甲子園大会中止に代表されるように小中学校の各種大会・競技会がなくなり、落胆した児童生徒も多くいたと思う。部活動に関しては、形を変えて無理のない範囲で行うことが望ましい。暑すぎる夏の活動をどうするか町民あげて理解を図りたい。

事業 3-16 いじめ・不登校への対応

- 非行などの問題行動が減り、不登校の児童生徒が増えているのは、どの市町でも同様である。「いじめ」によるものは減ってきているが、発達障害により集団での学習が困難であったり、困窮家庭やヤングケアラーであったりすることがある。不登校の要因を見つけ、個に応じた支援策を様々考案されたい。また家を出られない子のためのタブレット学習も工夫研究されたい。

事業 3-17 生徒指導の充実

- 町内全小中学校で落ち着いた生活がなされていることは、生徒指導体制や町民の見守り活動が適切に機能しているからに相違ない。関係機関との連絡が緊密である点が良い。

IV 文化財の分野

事業 4-1 文化財の調査・保護

- 町政施行50周年に向け、指定文化財の保護・保存、郷土資料の収集と整備に大変力を入れていただいた。町史編纂事業も順調に進んでいるようで、喜ばしい。広報やホームページでの呼び掛けにより、新たに56点の資料が収集できたことや、無形文化財である木遣や神楽の様子を動画に収めたことなど、貴重な文化財を後世に残していこうとする当局の意欲は素晴らしいものである。

事業4-2 文化財保護意識の醸成と担い手の育成

- 文化財友の会が郷土資料室の運営補助や見学時のガイドを引き受けてくれる点が有難い。現会員数は4名であるが、歴史好きの子どもたちの中から次代につながる担い手が出てくるのではないかと期待している。
- 歴史講座は、一見地味だが、マニアにはたまらなく魅力的である。テレビドラマやアニメ・ゲームなど、その時々に関心のある人物を取り上げ、鋭意継続していただきたい。

事業4-3 文化財資料の活用促進

- 少なからず懸念していた郷土資料室や倉庫について現存資料の大規模な整理整頓を行い、新たに台帳を作成できたことは称賛に値する。
- 町政施行50周年に合わせた郷土資料室のリニューアルに向け、「展示の基本構想・基本計画」を作成できたことにより、今後の常設展や企画展が一層素晴らしいものになると楽しみである。

V 芸術・文化の分野

事業5-1 芸術・文化活動の推進

- 文化振興事業実行委員会10名により運営された「秋川雅史コンサート」は、感染防止対策による制限がなければ、もっと多くの方が参加いただけたに違いない。企画の生きた素敵な事業であった。「お昼のときめきコンサート」も回を追うごとに参加者が増え、上質の音楽に触れることを望む町民が多いことが分かる。今後も是非継続されたい。
- 文化展・芸能発表会は、例年多くの住民が参加し、文化交流の場として大変活況に満ちている。中止は残念であったが、状況が許せば、この事業を今後も大切に運営してほしい。

事業5-2 文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援

- 文化協会への加盟団体が多く、活発に活動されている様子が分かる。しかし、会員の高齢化による会員数の減少は否めない。今後は、既存団体の存続より新団体の設立を支援する方向に舵を切る必要があるのではないかと。既に、音楽好きの町民が集まってオーケストラを作るなど、新しい風は吹いている。まず、街角ピアノやドローン飛ばし等々、世間に好評を得ている事柄を講座でピックアップしてきっかけづくりを行い、グループ化を進めていけたら、文化振興に一層寄与できるはずである。

※ 総じて、町民の意見を真摯に聞き、柔軟な思考をもってどんどん改善を図っていく姿勢が大変立派だと感じた。教育委員会の担当者及び町当局の意欲に感銘を受けている。